

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 近畿財務局長

**【提出日】** 平成25年2月12日

**【四半期会計期間】** 第28期第3四半期(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

**【会社名】** WDBホールディングス株式会社

**【英訳名】** WDB HOLDINGS CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 中野敏光

**【本店の所在の場所】** 兵庫県姫路市豊沢町79番地

**【電話番号】** 079-287-0111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 専務取締役 大塚美樹

**【最寄りの連絡場所】** 兵庫県姫路市豊沢町79番地

**【電話番号】** 079-287-0111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 専務取締役 大塚美樹

**【縦覧に供する場所】** WDBホールディングス株式会社 東京本社  
(東京都千代田区丸の内2丁目3番2号)  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	会計期間	第27期 第3四半期 連結累計期間	第28期 第3四半期 連結累計期間	第27期
		自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高	(千円)	16,550,914	18,244,317	22,457,602
経常利益	(千円)	1,193,042	1,680,959	1,664,228
四半期(当期)純利益	(千円)	625,904	987,754	919,971
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	625,197	989,118	923,761
純資産額	(千円)	4,141,946	5,190,056	4,440,510
総資産額	(千円)	8,454,311	9,098,304	10,005,123
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	12,596.18	20,041.87	18,514.21
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	49.0	57.0	44.4

回次	会計期間	第27期 第3四半期 連結会計期間	第28期 第3四半期 連結会計期間
		自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	5,254.07	10,097.06

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、主要な関係会社における異動は、平成24年11月1日付で株式会社アイ・シー・オーとW D B メディカル株式会社が合併し、存続会社である株式会社アイ・シー・オーはW D B アイシーオー株式会社に商号変更いたしました。また、平成24年12月12日にW D B 工学株式会社を新たに設立いたしました。その結果、当社グループは、平成24年12月31日現在で当社及び子会社13社により構成されることになりました。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復の動きが見られたものの、欧州の債務問題や新興国経済の減速等による世界経済の停滞、また円高の長期化の影響もあり、先行きが不透明な情勢が続いております。

国内の雇用情勢につきましては、厚生労働省が発表した平成24年12月の有効求人倍率(季節調整値)は0.82倍と緩やかな改善となっておりますが、総務省が発表した平成24年12月の完全失業率(季節調整値)は4.2%となっており、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「研究者が活躍する日本をつくる」という考えのもと、中核である人材事業とともに、CRO事業の一層の強化・効率化を目指し、医薬品開発支援事業を展開しておりますWDBメディカル株式会社と、医薬品開発分野での翻訳支援事業を行っております株式会社アイ・シー・オーを合併し、新たにWDBアイシーオー株式会社として、当該事業においてフルカバレッジのサービスを提供すべく活動を開始いたしました。さらに、従来の理学系研究職人材サービスの枠を超え、理工学分野全体へと事業領域の拡大を目指し、工学分野に専門特化したWDB工学株式会社を平成24年12月に設立しております。

また、WDB株式会社におきましては、国内で4拠点目となる、スタッフの知識・技能の向上を目的とした九州研修所を平成24年12月に福岡市に開設し、自社内での研究職人材の養成体制を拡充させ、これまで以上に顧客のニーズに幅広くお応えする体制を整えてまいりました。

以上のような活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、主として理学系研究職の売上高の増加により18,244百万円と前年同四半期と比べ1,693百万円(前年同期比10.2%増)の増収となりました。事業別の構成比は、人材サービス事業が97.9%、その他事業が2.1%であります。営業利益は、1,648百万円と前年同四半期と比べ449百万円(前年同期比37.4%増)の増益、経常利益は、1,680百万円と前年同四半期と比べ487百万円(前年同期比40.9%増)の増益、四半期純利益は、987百万円と前年同四半期と比べ361百万円(前年同期比57.8%増)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 人材サービス事業

研究職人材サービスの売上高が前年同四半期に比べ増加した結果、売上高は、17,867百万円と前年同四半期と比べ1,556百万円（前年同期比9.5%増）の増収、セグメント利益（営業利益）は、1,841百万円と前年同四半期と比べ567百万円（前年同期比44.5%増）の増益となりました。

（注）セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

#### その他

当セグメントの売上高は、有機化学薬品の製造事業が好調に推移したことから、376百万円と前年同四半期と比べ136百万円（前年同期比57.0%増）の増収、セグメント損失（営業損失）は、16百万円（前年同四半期は48百万円の損失）となりました。

（注）セグメント損益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、主に現金及び預金の減少により、総資産9,098百万円となり、前連結会計年度末と比較して906百万円の減少となりました。負債は、主に借入金の減少等により3,908百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,656百万円の減少となりました。また、純資産は5,190百万円となり、前連結会計年度末と比較して749百万円の増加となりました。

### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、0百万円であります。これは、株式会社WDB環境バイオ研究所に係るものであります。なお、当第3四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,600
計	200,600

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	50,150	50,150	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株制度を採用 していません。
計	50,150	50,150		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年12月31日		50,150		800,000		52,525

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 960		
完全議決権株式(その他)	普通株式 49,190	49,190	
単元未満株式			
発行済株式総数	50,150		
総株主の議決権		49,190	

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) WDBホールディングス 株式会社	兵庫県姫路市豊沢町79番地	960		960	1.91
計		960		960	1.91

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,353,029	1,573,296
受取手形及び売掛金	2,747,439	2,674,961
有価証券	14,183	-
商品及び製品	3,949	3,909
仕掛品	16,759	22,183
原材料及び貯蔵品	16,739	10,734
その他	716,851	748,493
貸倒引当金	4,683	8,119
流動資産合計	5,864,267	5,025,459
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,889,636	1,827,423
土地	1,454,335	1,437,468
その他（純額）	159,091	164,515
有形固定資産合計	3,503,064	3,429,406
無形固定資産		
のれん	93,915	60,320
その他	6,136	6,368
無形固定資産合計	100,052	66,689
投資その他の資産	537,738	576,749
固定資産合計	4,140,855	4,072,845
資産合計	10,005,123	9,098,304
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,293,892	1,219,558
短期借入金	595,668	15,000
1年内返済予定の長期借入金	362,208	362,208
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	492,174	34,657
賞与引当金	275,273	167,715
その他	1,310,354	1,146,418
流動負債合計	4,349,570	2,965,556
固定負債		
社債	20,000	-
長期借入金	800,576	528,920
退職給付引当金	32,470	36,670
役員退職慰労引当金	261,636	275,648
資産除去債務	63,871	65,394
その他	36,488	36,058
固定負債合計	1,215,042	942,690
負債合計	5,564,613	3,908,247

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	52,525	52,525
利益剰余金	3,610,588	4,410,020
自己株式	24,564	75,814
株主資本合計	4,438,549	5,186,732
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	521	377
為替換算調整勘定	2,481	3,702
その他の包括利益累計額合計	1,960	3,324
純資産合計	4,440,510	5,190,056
負債純資産合計	10,005,123	9,098,304

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	16,550,914	18,244,317
売上原価	12,651,335	13,820,462
売上総利益	3,899,579	4,423,855
販売費及び一般管理費	2,700,332	2,775,572
営業利益	1,199,246	1,648,283
営業外収益		
受取利息	129	182
受取配当金	5,789	1,857
助成金収入	-	20,000
雑収入	8,688	22,073
営業外収益合計	14,607	44,113
営業外費用		
支払利息	6,315	6,258
解約違約金	4,826	-
雑損失	9,669	5,178
営業外費用合計	20,811	11,437
経常利益	1,193,042	1,680,959
特別利益		
固定資産売却益	3	-
受取設備負担金	-	16,246
特別利益合計	3	16,246
特別損失		
固定資産除却損	3,091	7,058
減損損失	-	32,867
その他	578	-
特別損失合計	3,669	39,926
税金等調整前四半期純利益	1,189,376	1,657,278
法人税、住民税及び事業税	474,466	586,775
法人税等調整額	89,005	82,748
法人税等合計	563,472	669,524
少数株主損益調整前四半期純利益	625,904	987,754
少数株主利益	-	-
四半期純利益	625,904	987,754

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	625,904	987,754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	724	143
為替換算調整勘定	17	1,220
その他の包括利益合計	706	1,364
四半期包括利益	625,197	989,118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	625,197	989,118
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
(連結の範囲の重要な変更) 当第1四半期連結会計期間より、新たに設立したWDBユニバーシティ株式会社を連結の範囲に含めております。また、当第3四半期連結会計期間より、株式会社アイ・シー・オーを存続会社、WDBメディカル株式会社を消滅会社とする吸収合併を行い商号変更したWDBアイシーオー株式会社、及び新たに設立したWDB工学株式会社を連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 なお、この変更による影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
減価償却費	90,981千円	142,157千円
のれんの償却額	33,595千円	33,595千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月23日 定時株主総会	普通株式	74,535	1,500	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金
平成23年11月9日 取締役会	普通株式	49,690	1,000	平成23年9月30日	平成23年12月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	139,132	2,800	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金
平成24年11月9日 取締役会	普通株式	49,190	1,000	平成24年9月30日	平成24年12月6日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	人材サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	16,311,146	16,311,146	239,767	16,550,914
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,421	21,421		21,421
計	16,332,568	16,332,568	239,767	16,572,335
セグメント利益又は損失( )	1,274,237	1,274,237	48,345	1,225,891

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品製造事業及び魚介類の養殖販売事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,274,237
「その他」の区分の損失( )	48,345
セグメント間取引消去	5,766
全社費用(注)	32,411
四半期連結損益計算書の営業利益	1,199,246

(注) 全社費用は、平成23年11月1日の新設分割により純粋持株会社となった当社において発生する管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	人材サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	17,867,982	17,867,982	376,334	18,244,317
セグメント間の内部売上高 又は振替高	53,336	53,336	-	53,336
計	17,921,319	17,921,319	376,334	18,297,654
セグメント利益又は損失( )	1,841,619	1,841,619	16,830	1,824,788

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品製造事業及び魚介類の養殖販売事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,841,619
「その他」の区分の損失( )	16,830
セグメント間取引消去	8,424
全社費用(注)	184,929
四半期連結損益計算書の営業利益	1,648,283

(注) 全社費用は、平成23年11月1日の新設分割により純粹持株会社となった当社において発生する管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに係る事項はありません。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当社グループはデリバティブ取引を行っていないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

共通支配下の取引等

(1) 取引の概要

結合当事企業の名称及びその事業の内容

( ) 結合企業

名称 株式会社アイ・シー・オー

事業の内容 医薬品開発分野の翻訳支援業務

( ) 被結合企業

名称 WDBメディカル株式会社

事業の内容 医薬品・医薬部外品・化粧品等の開発支援業務

企業結合日

平成24年11月1日

企業結合の法的形式

株式会社アイ・シー・オー(当社の連結子会社)を存続会社、WDBメディカル株式会社(当社の連結子会社)を消滅会社とする吸収合併

結合後企業の名称

WDBアイシーオー株式会社(当社の連結子会社)

その他取引の概要に関する事項

当社グループにおける医薬品開発分野での翻訳支援事業を行っております株式会社アイ・シー・オーが、医薬品開発支援事業を展開しておりますWDBメディカル株式会社を吸収合併することで、CRO事業の一層の強化・効率化を目指し、当社グループ経営における総合力及び効率化を図ることを目的としております。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	12,596円18銭	20,041円87銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	625,904	987,754
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	625,904	987,754
普通株式の期中平均株式数(株)	49,690	49,284

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第28期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)中間配当について、平成24年11月9日開催の取締役会において、平成24年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	49,190千円
1株当たりの金額	1,000円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成24年12月6日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月7日

WDBホールディングス株式会社

取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	芝	池	勉	印
--------------------	-------	---	---	---	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	目	細	実	印
--------------------	-------	---	---	---	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているWDBホールディングス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、WDBホールディングス株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。